

『風力発電に係る包括補償制度』のご案内

風力発電設備は屋外に設置されるため厳しい自然環境に曝されており、また一方で多数の部品で構成されていることから突発的な故障事故に遭う可能性も高く、大きなリスクを抱えた発電設備です。これらのリスクが顕在化した場合に金銭的な補填を受けられるだけでなく、事前にリスクの顕在化を防止することも損害保険に長らく求められておりました。

今般、こうした要望に応えるべく、風力発電設備のリスク診断サービスを組み合わせた新しい保険制度を、日本風力発電協会会員向けに開発いたしました。内容をご高覧の上、本制度のご加入につきまして、ご検討くださるよう宜しくお願い申し上げます。

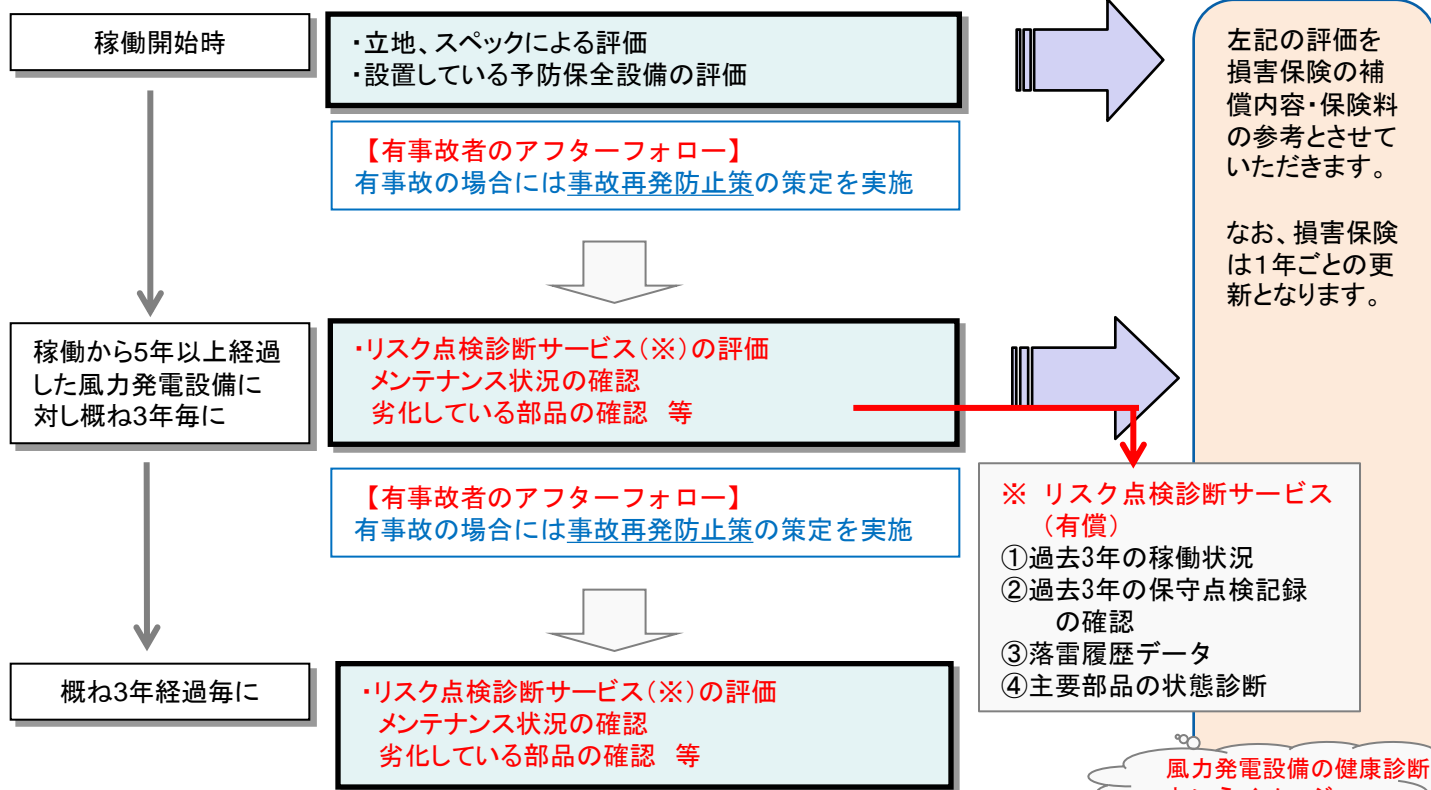
包括補償制度とは・・・

- ① 重大事故・故障につながる蓋然性が高い風力発電設備を選定し、第三者の立場から点検診断と事業リスクの診断を行う「リスク点検診断サービス」を活用いただきます。
 - ② 発見された不具合に対する改善により重大事故発生を抑止し予防保全を実現します。
 - ③ 重大事故の防止とダウンタイムの短縮により、安定した事業運営を目指します。
- 「損害保険制度」だけではない、事業継続全体をサポートする制度です。

包括補償制度導入のメリット

- ① リスク点検診断サービスによる不具合状況の早期発見により、重大事故発生抑止
- ② 重大事故発生抑止＝損害保険の高額事故抑止となり、保険料の安定化が実現
- ③ 重大事故発生抑止により、事業者様のCSR上のプラス効果が生まれる
- ④ リスク診断サービスは第三者による定期的評価という位置づけとなり、レンダー等に対して、事業継続性を報告することが可能

包括補償制度のイメージ



損害保険の内容

○新制度の損害保険については、以下のような損害について、その財物損壊および喪失利益について、補償します。

○財物損害を補償する財物補償条項は必須加入ですが、喪失利益を補償する利益補償条項については任意加入で、加入するかどうかはご選択いただけます。

充実補償プラン

基本補償プラン



火災



落雷



破裂・爆発



風災・雹災・雪災
(損害額が20万円以上
となった場合)



水災



電氣的事故
機械的 accident



上記および左記
以外の不測かつ
突発的な事故

水災、電氣的機械的の事故、その他不足かつ突発的な事故の補償については、加入の可否をご選択いただけます。

※ 風力発電メーカー保証を踏まえた損害保険の設計、プロジェクトファイナンス事業による質権設定など、各種、ご要望に応じてご対応いたします。

損害保険の新特約(事故再発防止費用補償特約)について

○新制度の損害保険おきましては、以下のような費用を補償することが可能です。

①再発防止詳細調査費用

なぜその事故が発生してしまったのか、について詳細に調査する費用をお支払いします。その調査により事故の原因を把握することで再発防止手段を講じることができます。

②他の設備に対する再発防止点検費用

事故が発生していない設備においても、発生事故と同様の原因が潜在している可能性があります。本特約でその点検費用をお支払いします。(点検対象は事故が発生した保険の対象と同一敷地内に所在するものにかぎります。)

※当社の承認を得て支出した費用にかぎります。

損害保険ご加入にあたって

1. 本制度ご加入をご検討いただける場合、下記の代理店までご連絡ください。
2. 代理店より、風力発電設備に係るヒアリングシート等をお送りし、損害保険のお見積もりに向けたご対応について、ご連絡を差し上げます。

※本チラシの損害保険の内容は概要を記載したものととなります。詳細は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
※リスク点検診断サービスの内容につきましては、損保ジャパン日本興亜およびSOMPOリスクケアマネジメント(株)からご説明いたします。

お問い合わせ

代理店 共立株式会社 業務開発部 担当 荒川

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-2-16 共立日本橋ビル

TEL 03-5962-3075 (平日 9時から17時) E-mail shinnosuke.arakawa@kyoritsu-ins.co.jp

引受保険会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 団体・公務開発部第二課 担当 由良

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL 03-3349-5402 (平日 9時から17時) E-mail kyura@sjnk.co.jp

契約者および被保険者は、損保ジャパン日本興亜の公式ウェブサイト (<http://www.sjnk.co.jp/>) に掲載の個人情報の取扱いに同意します。



損害保険ジャパン日本興亜株式会社

(2016/06/30 SJNK16-04513)